

CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きを短くまとめて紹介します



ニューヨーク事務所

「三春滝桜」を寄贈～福島県三春町と米ライスレイク市姉妹都市 30 周年

3月19日、ウィスコンシン州ライスレイク市において、同市と福島県三春町の姉妹都市提携30周年を記念して、三春町からは鈴木義孝町長が出席され、日本3大桜のひとつである三春滝桜の子孫樹の贈呈式が行われました。米国では樹木の輸入が制限されていることから、三春町では、ニューヨーク市で育てられていた苗木をライスレイク市へ寄贈できないか、調整を進めてきました。この苗木は、2013年に三春町で採取され、東京都から姉妹都市であるニューヨーク市に贈られた種子から、同市で大切に育てられていたものです。調整に当たっては、クリアニューヨーク事務所もサポートし、今回、東京都およびニューヨーク市の協力のもと、3本の苗木がライスレイク市に贈られることになりました。三春町とライスレイク市、東京都とニューヨーク市の友好のもとで植えられたこの桜が咲くのが楽しみです。



写真は三春町提供

訪日促進イベント「Japan Week 2018」で日本各地の魅力をPR!

3月14日から17日の4日間にわたり、ニューヨーク市マンハッタン中心部にあるグランド・セントラル・ターミナル駅で、「Japan Week 2018」が開催されました。クリアニューヨーク事務所の職員も主催者であるJNTO（日本政府観光局）のブースに加わり、日本各地の魅力をPRしました。開催7回目となる今年の目玉は、目の錯覚を利用して、実際に自分がその絵の中に入り込んだかのような写真を撮ることができる「3Dトリックアート」の展示でした。これは流行りの「インスタ映え」する写真を撮ることができることで、より多くの来場者呼び込むとともに、情報が拡散することを狙ったものです。会場には7種類のトリックアートが並び、来場者は気に入った作品の前で思い思いのポーズを取り、写真撮影を楽しんでいました。



パリ事務所

トゥール市で日本の地域をPR

クリアパリ事務所では、日本の自治体が参加しにくいフランスの地方都市で開催される日本関連イベントに出展し、観光情報などを紹介しています。2017年度は、フランス南部のマルセイユ市、南東部のリヨン市、中部のトゥール市で行われたイベントに参加しました。3月9日～11日にトゥール市で行われたJapan Tours Festivalでは、過去最高の1万7千人の来場者が訪れ、ポップカルチャー、伝統文化などさまざまな日本文化を堪能するフランス人までにぎわいました。クリアブースでは、各地の観光情報とともにラグビーワールドカップ日本大会や所員が作成したおすすめルートを紹介しました。観光情報を提供するブースはクリアブースのみだったため、多くの方が訪れました。来場者の年齢層も幅広く、学生からは「留学情報を教えてください。」、ファミリー層からは「子供も楽しめる地域はどこか。」、リタイア層からは「フランス語しかできないけど、日本では問題なく旅行できるか。」などといった質問がありました。

トゥール市は高松市と姉妹都市を提携しています。「トゥール市の姉妹都市はどこか。」という選択形式のクイズを行ったところ、約6割の正答率で、認知度の高さに驚きました。

2017年のフランス人の訪日者数は26万人を超えており、地方都市においても訪日需要の高まりを感じています。クリアパリでは引き続きフランスの地方都市でのイベントに出展し、フランス各地で日本の地域のPRを行っていきます。クリアパリ事務所ブログにも、地方都市でのイベントの様子を掲載していますのでぜひご覧ください。フランス地方都市でのイベントにご興味ある自治体はお気軽にクリアパリ事務所までお問合せください。<http://www.clairparis.org/ja/clair-paris-blog-jp/blog-2018-jp>



トゥール市助役のテバルディ氏（右から2人目）らがブースを訪問した様子



来場者でにぎわうクリアブース



ソウル事務所

創刊 20 年韓国唯一のワイン関連雑誌が萩市の魅力を取材！

クレアソウル事務所では、創刊 20 年、月刊 1 万 5,000 部を誇る韓国唯一のワイン関連雑誌「WINE REVIEW」と連携し、日本の地域を訪問取材し、その魅力を韓国内で発信する事業を行っています。このたび、高知県（2017 年 9 月）、群馬県（11 月）、鳥取県（12 月）での取材に引き続き、2017 年度最後の訪問取材として、2 月 21 日から 24 日にかけて「WINE REVIEW」取材団が山口県萩市を訪問しました。

取材では、萩城跡や城下町、萩反射炉などの世界遺産をはじめ、職人技を長く継承する地元の酒造会社、白砂青松の海岸で美しい夕景を有する菊ヶ浜、萩温泉郷などを訪問した。さらに、見蘭（けんらん）牛など新鮮な地元食材を使った絶品料理も食したほか、伝統工芸品「萩焼」を見学するなど、取材を通じ、萩市の歴史・文化・伝統・自然・食などの魅力を大いに体感することができました。

取材した内容は、写真などビジュアルとともに 10 ページにも及び、豊富な情報量で広く読者に届けられるため、萩市の知名度向上やインバウンド促進に大きくつながっていくことが期待されます。



酒造会社を取材する様子



世界遺産・萩城跡



ロンドン事務所

JLGC セミナーを実施しました！

クレアロンドン事務所は 3 月 9 日、英国シェフィールド大学と共催で、2017 年度 JLGC セミナーを実施しました。「鉄道による地域活性化」をテーマに、在英国日本国大使館や JR 東日本ロンドン事務所から、日本での成功事例についてご講演いただきました。続いて、英国のシンクタンクや地方自治体の交通政策責任者などを交えてパネルディスカッションを行い、約 70 人の参加者は地域活性化に交通インフラが果たす役割の重要性について、認識を新たにしました。セミナー終了後にはレセプションを行い、日本酒で参加者をもてなしました。



ロンドンの日系スーパーで「徳島フェア」を開催

徳島県は 3 月 9 日から 22 日にかけて、ロンドン中心部にある日系スーパーで、県産のイチゴ、ハッサク、サツマイモ（鳴門金時）、菜の花を PR、販売するフェアを実施しました。クレアロンドン事務所職員が、来客への試食提供・商品説明やアンケート調査を支援。イチゴは英国産のものに比べて高値であったにもかかわらず、初日で完売し、ハッサクや菜の花も珍しいのか、現地の消費者の関心を引いていました。ロンドンでは日本食材・食品への関心が高く、今後も市場が拡大することが期待されます。



北京事務所

広州国際旅遊展覧会（GITF2018）で観光プロモーション

3 月 1 日から 3 日にかけて、広東省広州市にて広州国際旅遊展覧会（GITF2018）が開催され、クレア北京事務所もブースを出展しました。同展覧会には、世界の 53 の国と地域から 1,029 団体が出展し、3 日間でのべ約 17 万人の旅行者や一般客が来場しました。今回は、福島県、徳島県、沖縄県、札幌市、チーム昇龍道（石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県）と共同出展し、各地域の観光パンフレットの配布や、DVD の上映などを通じて日本各地の観光プロモーションを行いました。訪日旅行人気を反映して、多くの来場者がクレアブースに立ち寄り、用意したパンフレットは最終日を待たずに配り終えるほど盛況でした。スマートフォンを見ながら観光地への行き方を尋ねる方や、桜の開花、サイクリングや釣りなど趣味に関することを尋ねる方など、来場者はさまざまなジャンルについて熱心に情報収集を行っていました。旅行者には日本の地方の旅行者の情報を求める方もいて、広州地域における訪日旅行への高い関心が感じられました。





シドニー事務所

メルボルン夏祭りが大盛況！＝くまモンも大人気

2月25日、「メルボルン夏祭り」がメルボルン・フェデレーションスクエアで開催され、約3万5,000人が来場しました。日本の伝統と文化を発信し、日豪の交流活性化を目的としたこの祭りは今回9回目を迎え、メルボルンのイベントのひとつとして定着しつつあります。

会場では日本文化体験コーナーや屋台などが多数出展し、豪華なステージが祭りを華やかに彩りました。来場者は日本の料理に舌鼓を打ち、着物の試着や書道体験、日本の玩具で遊んだりして日本の雰囲気を楽しみました。

シドニー事務所は、熊本県の震災支援活動を行う関係者

とブースを共同出展し、日本全国の見どころを紹介。ブースには絶えず来場者が詰めかけ、日本の観光地とグルメ情報、文化などについて質問がたくさん寄せられました。日本の人気の高さが伺い知れ、メルボルンでの観光PRに手ごたえを感じました。

熊本県のマスコットキャラクター「くまモン」が現れると、「くまモン」にハグをもとめる親子連れなどの来場者がたくさん押しかけ、ブース周辺は歩くのも困難なほどの人だかりになり、写真撮影がさかに行われていました。



豪州でも圧倒的な人気を誇る「くまモン」



ねぶたの衣装で青森をPRする所員と来場者



シンガポール事務所

日本の伝統工芸品のすばらしさを伝え、販路拡大へつなげる

シンガポール最大級のインテリア用品の展示会「NOOK ASIA 2018」が3月8日から11日まで開催され、シンガポール事務所では自治体を通じて公募した事業者の中から12社を選定し、鋳造製品、木工製品、陶磁器、象がん、織物や漆器など幅広い種類の伝統工芸品を出展しました。

日本の伝統工芸品は、一見ただけではその価値が十分伝わりにくいため、ブースでは単に工芸品を展示するだけでなく、モニターで製作過程の映像を流すことにより、当該工芸品の生まれた背景や環境、素材の選定や伝統的な技法を紹介しました。

また、素材や製造方法などについて関心を持った来場者に対しては、スタッフが製作者の説明を通訳したり、タブレットを用いて関連する資料やウェブサイトを見せることにより、丁寧かつ熱心にそのすばらしさを伝えました。

例えば、「なぜ日本の鉄瓶は軽いのか」という質問に対し、使う人のことを考えて軽く薄く仕上げられており、そのためには厳選された素材と高度な技術が必要であることを説明すると、来場者は感心していました。

シンガポールはアジアのショーケースと言われており、このエリアにおける日本の伝統工芸品のさらなる販路の拡大が期待されます。



経済交流課

日本ふるさと名産食品展 in クアラルンプールの出展者を募集します！

クレアでは、地方自治体が行う地域産品の海外販路開拓を支援するため、平成30年度も引き続き、東南アジア市場の中でも有望なマーケットとして知られるマレーシア・クアラルンプールにおいて、「日本ふるさと名産食品展 in クアラルンプール」を開催します。ご出展いただける事業者を募集しますので、ぜひご検討ください。

■概要

日 程：平成30年10月26日（金）～平成30年11月4日（日）（10日間※予定）

場 所：ISETAN The Japan Store KUALA LUMPUR（伊勢丹 Lot10 店）

出展者数：15～20 事業者程度（※酒類の募集は終了しました）

締 切：平成30年5月31日（木）

詳しい内容はHPをご確認ください。http://www.clair.or.jp/j/economy/2/exhibition.html

■自治体にとって「日本ふるさと名産食品展 in クアラルンプール」にはこんなメリットがあります！

1. 自治体独自の企画・交渉の手間を要さず、本食品展で地域の特産品をアピールできます。
2. 初めての出展でも安心！マレーシア輸出に係る手続きや本番までの準備など、全ての手続きをクレアがサポートします。
3. 食品展開催を予定している自治体様に対して、食品展のノウハウを提供します。
4. 特産品の販売と併せて実施する観光PRに関連した販促イベントがあり、こちらに来場されたお客様に向けて自治体の魅力を発信することができます。

■お問い合わせ 経済交流課

Tel：03-5213-1726 e-mail：keishin@clair.or.jp



昨年11月開催時に商品説明をしている様子

JET プログラム事業部

JET プログラム動画コンテスト 2017 受賞作品決定

JET プログラム参加者の視点で発掘した地域の魅力を動画で発信する「JET プログラム動画コンテスト 2017」を開催しました。平成 28 年度の JET プログラム 30 周年記念の際にイベントの一環として行ったところ大きな反響があったため、平成 29 年度も引き続き開催したものです。

平成 29 年 7 月から 11 月にかけて作品を募集し、26 自治体 11 か国 38 名の全国の JET 参加者からの応募がありました。平成 30 年 2 月 14 日に有識者による審査委員会を開催し、最優秀賞をはじめとする 8 作品の受賞作品を決定しました。

本コンテストは、外国人の視点を活かした地域活性化の取り組みであるだけでなく、今後、JET プログラムに参加する方たちが渡航前に日本について学ぶための良いコンテンツにもなるものと考えています。

平成 29 年度の受賞作品および過去の応募作品については、以下のサイトでご覧いただけます。

<http://jetprogramme.org/ja/videocontest/>



最優秀賞受賞作品の 1 場面

平成 29 年度の受賞一覧

賞の種類	受賞作品	受賞者	職種	任用団体	国籍
最優秀賞	le : Beyond the Shoreline	Daeyna Jackson	ALT	沖縄県伊江村	ジャマイカ
優秀賞	青森で暮らすということは	Sooyoung Park	CIR	青森県	韓国
優秀賞	Izu is Beautiful	Dana Nyberg	ALT	静岡県西伊豆町	アメリカ
アイデア賞	Kakinoura	Elayna Snyder	元 ALT	愛媛県愛南町	アメリカ
地域の魅力 PR 賞	私が過ごした江戸川区の夏	Rebecca Smith	ALT	東京都	アメリカ
チャレンジ賞	Kaminoyama's Kasedori Festival	Giuseppe Di Martino	ALT	山形県上山市	アメリカ
JET 賞	"A New Me" In Sendai-Shi	Roley Leyson	ALT	仙台市	カナダ
スピリット賞	富岡駅、再び。	Quanyi Xu	CIR	福島県	中国

交流親善課

日中韓 3 か国地方政府交流会議

地理的、歴史的にも密接な関係にある中国、韓国に日本を含めた 3 か国の地方自治体が相互の交流・協力を促進することを目的に、3 か国持ち回りで毎年開催しています。中国で開催される第 20 回会議は、中国・韓国との交流に関心があれば、どちらの自治体もご参加いただけます。すでに募集を行っているため、奮ってお申込みください。

- ◆日程 平成 30 年 10 月 17 日 (水)～21 日 (木) の 5 日間
- ◆開催地 中国・河南省開封市
- ◆テーマ 「北東アジア地域における互恵的連携協力体制の構築」



第 19 回会議で主旨講演を行う新潟市長

日仏自治体交流会議

日本とフランスの自治体が一堂に会し、自治体が抱える共通の課題や先進施策について発表・議論を行います。今回が 6 回目の開催となります。フランスとの交流に関心があれば、どちらの自治体もご参加いただけます。6 月後半に募集を開始するので、奮ってお申込みください。

- ◆日程 平成 30 年 10 月 9 日 (火)～10 月 11 日 (木) の 3 日間
- ◆開催地 熊本市 (ホテル日航熊本)
- ◆テーマ 「成熟社会における都市の魅力と価値の向上」
～人口規模や経済規模の増加に頼らない持続可能なまちづくりのビジョンと手法～



第 5 回会議の様子 (フランス・トゥール市)